

開講学科	総合デザイン工学科	前橋工科大学 シラバス			
科目名	西洋建築史	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		2年次	選択	18104801	
担当教員	加藤 旭光	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	後期	水曜日	6時限
授業の教育目的・目標	<p>目的：西洋建築の歴史的発展を学ぶなかで、ヨーロッパにおいて形成された建築の理念について、時代背景や土地、風土といった観点から解説する。</p> <p>目標：時代背景、社会に求められた要請に、建築・建築家はどのように応えたのかを検討する。建築の理念と、実現されていく過程の中で、建築家は何を考え、何を残そうとしたかを検討する。</p> <p>建築家の果たすべき役割、負うべき社会的責任について考える。</p>				
学科の学習・教育目標との関係	<p>自ら問題を発見し、自ら調べ、自ら考えて問題を解決する能力を持つ。</p> <p>機能と形態を結びつけて考えることができる。</p> <p>建築家が備えるべき社会的責任を理解する。</p>				
キーワード	西洋建築史、ヨーロッパ、建築家、建築理念				
授業の概要	<p>西洋建築史では、ヨーロッパ建築の理解のために必須となる様式的理解を概説するとともに、そこに表れる造形や、理念を実現させるための技術の変遷などを読み解く。これらの背景となる当時の人たちのメンタリティーを考慮しつつ、その時代、土地を代表する建築物について考察を重ねることで、建築の様式史的発展だけでなく、古代から現代までの多種多様な建築物を読み解く力を養うことを目的とする。</p>				
授業の計画	<p>第1回： 建築史と様式的理解のために（ガイダンス含）</p> <p>第2回： 古代ギリシア建築</p> <p>第3回： 古代ギリシア建築②</p> <p>第4回： 古代ローマ建築</p> <p>第5回： 古代ローマ建築②</p> <p>第6回： ビザンティン建築</p> <p>第7回： ロマネスク建築</p> <p>第8回： ロマネスク建築②</p> <p>第9回： ゴシック建築</p> <p>第10回： ゴシック建築②</p> <p>第11回： ルネサンス建築</p> <p>第12回： ルネサンス建築②</p> <p>第13回： 16世紀の建築</p> <p>第14回： 様式区分としての17世紀</p> <p>第15回： まとめ</p>				
受講条件・関連科目	<p>受講条件：近代建築史。2年次以降に受講することが望ましい。</p> <p>関連項目：近代建築史</p>				
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定する教科書はないが、講義に合わせプリント資料を配布する。</li> <li>講義ではスライドを使用し、視覚的に理解できるように配慮する。</li> <li>講義の内容に合わせた小レポートを作成し、講義の理解度を深める。</li> <li>期末にレポート課題を与え、小レポートと合わせて評価する。</li> </ul>				
テキスト・参考書	<p>「西洋建築様式史」（熊倉洋介、星和彦他著、美術出版社）、「ヨーロッパ建築史」（西田雅嗣編集、昭和堂）、「図説 西洋建築史」（陣内秀信、星和彦他著、彰国社）、「西洋建築史図集」（彰国社）</p>				
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験（70%）</li> <li>レポート（30%）</li> </ul>				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>小レポートも評価の対象とし、出欠のチェックも兼ねる。</li> <li>参考書をもって様々な建築物を見学してほしい。</li> </ul>				